

「海の日」行事“海と日本プロジェクト”2018を開催！

総合開会式、海の船一斉公開、海洋教育シンポジウム等の開催について

総合海洋政策本部・国土交通省・日本財団は、海洋についての国民、特に、次世代を担う青少年の理解と関心を一層深めるため、広く関係者の参画を得て、「海の日」行事“海と日本プロジェクト”を実施いたします。

本プロジェクトは、総合海洋政策本部・国土交通省・日本財団が主催し、関係省庁や自治体、各種団体、企業、大学等の産学官民の協働による海に関する多様なイベントに取り組んでいこうと 2015 年から実施しているものです。

本年においては、下記のとおり、総合開会式、海の船一斉公開、海洋教育シンポジウム等を開催いたしますので、お知らせいたします。

記

イベント名・日時	場所	イベント概要など
1 総合開会式 7月16日(月・祝) 10:00~10:30	東京港 晴海客船ターミナル 4階多目的ホール	<p>○趣旨</p> <p>「海の日」行事“海と日本プロジェクト”の総括的行事として開催します。また、海洋国家としてのメッセージを、特に次世代を担う青少年等に向けて発信します。</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶：福井 照 海洋政策担当大臣(予定) ・挨拶：石井 啓一 国土交通大臣(予定) ・挨拶：笹川 陽平 日本財団会長(予定) ・「海の日」メッセージ <p>○聴衆 参加者（招待者・小中高生含む）約 300 名</p> <p>一般参加者につきましては、ホームページ上で募集を行い、抽選を行います。(http://uminohi2018.info/)</p>

2	<p>海の船一斉公開、 ワークショップ・展示会 7月16日(月・祝) 10:00~17:00</p>	<p>東京港晴海埠頭</p>	<p>○海の船一斉公開 普段見学できない、4種類の船の内部を一般公開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社商船三井 次世代型自動車運搬船 BELUGA ACE ※船内見学には事前申込が必要であり、申込はすでに締め切っています。 ・海上保安庁 PL型巡視船 ぶこう (PL10) ※船内見学には身分証明書が必要です。 ・国立研究開発法人海洋研究開発機構 支援母船 よこすか (「しんかい6500」も) ・一般社団法人 WNI 気象文化創造センター 元南極観測船 SHIRASE <p>○汽笛の一斉吹鳴 海の日を祝い、港内に停泊中の船舶が、正午より10秒から30秒の継続する長音を一斉に行います。</p> <p>○ワークショップ・展示会 船員・潜水土・海上保安官・漁業取締りの仕事の紹介、操船シミュレーターによる船員体験、「C to Sea プロジェクト (注)」のパネル・トリックアート・海に関する作品の展示、オリジナル缶バッジ製作など、様々な催し物を用意しています。</p> <p>注：「C to Sea プロジェクト」とは、子どもや若者をはじめとして、より多くの人に海や船の楽しさを知ってもらうため、海に触れる機会の増加や、海や船に関する魅力的な情報発信等を推進する官民一体の取り組みです。「海と日本プロジェクト」の一環として、国土交通省が推進しています。</p>
3	<p>海洋セミナー・演奏会 7月16日(月・祝) 11:00~15:00</p>	<p>東京港 晴海客船ターミナル 2階セミナー会場、 4階多目的ホール</p>	<p>○海で活躍している女性たちのお話を聞こう！ 現役の女性船員さん(フネージョ)が船と船の仕事のお話をします(司会：ミス日本「海の日」)。</p> <p>○「しんかい6500」女性パイロットを目指して しんかい6500のスタッフが、人類最後のフロンティア“深海”へあなたを御案内します。</p>

			<p>○スーパーストリングスコーベによる演奏会</p> <p>世界的指揮者である佐渡裕氏が芸術監督を務めるスーパーキッズオーケストラ OB のピックアップメンバーによる船と海をテーマにした弦楽四重奏を行います。</p> <p>○海上保安庁音楽隊による演奏会</p> <p>ミス日本「海の日」とコラボレーション演奏も行います。</p> <p>○白石康次郎氏講演会「壁はある。でも、乗り越えられる。」</p> <p>海洋冒険家 白石康次郎氏が、次世代を担う青少年に向けて講演します。</p>
4	<p>海洋教育シンポジウム</p> <p>7月20日(金)</p> <p>13:30~16:30</p>	<p>東京海洋大学 越中島会館</p>	<p>○概要</p> <p>明治 150 年関連施策として、海洋教育を全国展開する機運を高めるため、異分野も含め多様な関係者の巻き込みを図り、海洋教育の多様性を周知する機会として、海洋教育シンポジウムを開催します。</p> <p>○プログラム (予定)</p> <p>主催者挨拶</p> <p>講演：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育の理念 田中 智志 東京大学海洋アライアンス 海洋教育促進研究センター センター長 ・我が国の海洋教育の取組について ファシリテーター：篠原 文也 政治解説者 ジャーナリスト 内閣府総合海洋政策推進事務局、 文部科学省、国土交通省 ・学校現場における取組について 岩手県洋野町 角浜小学校、林郷小学校 ・民間による取組について 世界の海洋教育の実情 海野 光行 日本財団 常務理事 ・食育からみた海洋教育の推進について 服部 幸應 服部栄養専門学校 校長

		<p>・パネルディスカッション</p> <p>テーマ：今後 10 年を見据えた海洋教育のあり方</p> <p>ファシリテーター：牧野 篤 東京大学大学院 教育学研究科教授</p> <p>パネリスト：さかなクン 東京海洋大学 客員准教授 渋谷 一典 国立教育政策研究所 教科調査官 後藤 敏信 岩手県洋野町立林郷小学校 校長</p> <p>○聴衆 参加者 約 300 名</p> <p>一般参加者につきましては、ホームページ上で募集を行い、抽選を行います。(http://uminohi2018.info/)</p>
5	<p>海と日本プロジェクト サポートプログラム</p> <p>〔主催：日本財団〕</p> <p>http://uminohi.jp/</p>	<p>海を未来へ引き継ぐための下記 5 つのアクションを設定し、全国で 1,500 以上のイベントを実施します。</p> <p>①海を学ぼう！②海をキレイにしよう！③海を味わおう！ ④海を体験しよう！⑤海を表現しよう！</p> <p>※本イベントに関する詳細は、別途お知らせします。</p>

※上記記載のイベントのほか、7月1日から7月31日までの1か月間は、「海の月間」として、全国各地でマリンスポーツ大会や体験乗船など、海や船に親しむための様々なイベントが開催されます。詳細は、国土交通省公式ホームページ（参考：http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk1_000026.html）を御覧ください。